

社説

2020.8.31

小学生の25人に1人がインターネット依存。シヨッキンクな調査結果が出た。

県内の小学4～6年生1万2130人を対象にしたネット利用状況調査で4・2%がネット依存であることが分かった。平日1日当たりの利用時間が4時間以上のグループでは17・6%に上った。

ネット依存は、オンラインゲームや会員制交流サイト(SNS)などを使い過ぎ、常にネットのことを考えている、宿題をしない、学校に行かないなど、社会生活に大きな支障を来している状態。県内の小学生にも広がりつつあ

小学生のネット依存

ることがうかがえる。

調査は富山大と県教委が2018年に行い、今月、分析結果を発表した。

有料コンテンツの利用は21・6%で、けんかなど人間関係のトラブルを5・2%が経験した。

ネットの役割は大きいですが、被害に遭う子も増えている。の会話が「現実社会で友人がいない」といった項目が関連を示した。

ネットの役割は大きいですが、被害に遭う子も増えている。の会話が「現実社会で友人がいない」といった項目が関連を示した。

利用ルール話し合おう

験し、ネットで知り合った人と2・4%が実際に会った。利用時間が長いほど、こうしたリスクが高まることも明らかになった。

コロナ禍で、オンライン授業やSNSによる交流など、

た。ゲームをしたい衝動を抑えられず、日常生活よりも優先し、健康を損なってもやめられなくなる。ゲーム内での高額な課金も社会問題化している。SNSを通じたいじめは後を絶たず、性犯罪などの

た。ゲームをしたい衝動を抑えられず、日常生活よりも優先し、健康を損なってもやめられなくなる。ゲーム内での高額な課金も社会問題化している。SNSを通じたいじめは後を絶たず、性犯罪などの

保健支援部門の山田正明助教は「ネットの娯楽利用が3時間を超えると、依存率は急激に高まる」と警鐘を鳴らす。対策を急がなければならない。

調査では、ネット依存と「家庭でのルールがない」「親子

い。子どもとの会話を増やし、ネット以外の遊びや趣味と一緒に楽しむことも心掛けたい。興味を持ちそうな習い事や地域の行事に誘うなど、友人をつくる機会を増やすサポートも大切だろう。

私たち大人もネットを使い過ぎていないか、いま一度見直したい。子どもは周囲の大人を映す鏡でもある。